

<PG-17005>

横浜北部の妖蝶の正体

投稿:2017年5月27日

臼杵 浩志(5回生)

ここ数年、オオゴマダラのようにフワフワ飛ぶ大型の白い蝶を何度か見かけ、気になっていたが、やっとその正体が判明した。オオゴマダラにしたら小さすぎるし、飛んでいるところは、アサギマダラやウスバシロチョウのようにも見える。5月19日、やっと、止まったところを確認して、アカボシゴマダラの白化型(アカボシの発現が悪い個体)であった。写真左は、昨年秋に撮影したアカボシゴマダラ(イチジクの木／我が家の畑)。写真中と右は、白化型個体で、アカボシ一つが発現した半白化型(今春、成瀬尾根)と完全白化型個体(今春、ミカンの木／我が家の畑)。ともに産卵のためエノキにとまり幹を伝って地上に降り立ち落ち葉に産卵した。

尚、アカボシゴマダラは、中国や台湾に棲息する蝶で、わが国でも奄美大島以南に棲息するが、白化型が現れるものは中国のものとされ、今、神奈川県下で繁殖しているものは、誰かによって我が国に持ち込まれた中国種と言われている。🦋



2016.11(我が家のイチジクの木で撮影)



2017.5.19(成瀬尾根のエノキに産卵)



2017.5.19(我が家の畑のミカン
の木で撮影)